

平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月31日

上場会社名 株式会社ジーテクト 上場取引所 東
 コード番号 5970 URL http://www.g-tekt.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菊池 俊嗣
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 吉沢 勲 (TEL) 048-646-3400
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	55,934	29.2	2,381	13.6	1,725	2.1	966	△2.9
27年3月期第1四半期	43,286	0.2	2,097	△33.7	1,689	△47.6	995	△48.8

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 977百万円 — 27年3月期第1四半期 △270百万円 —

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	22.03	—
27年3月期第1四半期	22.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	221,382	116,179	47.2
27年3月期	227,690	116,044	46.0

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 104,418百万円 27年3月期 104,701百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	11.00	—	13.00	24.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	13.00	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	105,000	16.2	4,300	5.4	3,400	△14.0	1,400	△39.2	31.90
通期	212,000	9.4	11,400	18.2	10,100	12.4	5,400	16.1	123.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) G-TEKT MEXICO CORP.、除外 1社(社名) S. A. DE C. V.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期1Q	43,931,260株	27年3月期	43,931,260株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年3月期1Q	44,662株	27年3月期	44,662株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	43,886,598株	27年3月期1Q	43,886,769株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

<u>目 次</u>		頁
1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	（1）経営成績に関する説明	2
	（2）財政状態に関する説明	2
	（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2.	サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
	（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
	（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
	（3）会計方針の変更・会計上の見積もりの変更・修正再表示	4
3.	四半期連結財務諸表	5
	（1）四半期連結貸借対照表	5
	（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
	（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
	（継続企業の前提に関する注記）	9
	（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	9
	（セグメント情報等）	10
	（重要な後発事象）	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内の経済情勢は、企業収益の好転を背景に設備投資や雇用環境が改善しました。

海外においては、原油安や内需拡大を背景とした米国景気の回復の一方で、中国や東南アジアの成長鈍化や商品市況下落による資源国経済・通貨の下落、ギリシャ債務問題等により、減速傾向で推移しました。

自動車業界におきましては、国内は、景気の足踏みや軽自動車増税等により、販売が低迷したことから、生産台数が減少しました。海外では、北米で好調な市場環境が続いていますが、東南アジアは回復が遅れる懸念が強まっており、中国でも需要の減速が目立っています。

このような経営環境の中、当社グループでは、自動車の需要拡大を見越したグローバルベースの能力拡大に目処をつけ、また、開発・提案力を更に強化し、よりタイムリーかつフレキシブルに世界各地のお客様の多様なニーズに対応できる物造り体質の実現に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間の業績については、国内・中国の減産等の影響があったものの、北米・アジアの増産が売上を牽引し、売上高は55,934百万円（前年同期比29.2%増）、営業利益は2,381百万円（前年同期比13.6%増）、経常利益は1,725百万円（前年同期比2.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は966百万円（前年同期比2.9%減）となりました。

報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①日本

売上高は、主要得意先の減産による量産売上の減少や型設備売上の減少がありましたが、好調な北米需要を背景に他社販売が増加し、試作等の追加受注も寄与して、13,157百万円（前年同期比10.9%減）となりました。セグメント利益（営業利益）は、生産台数の減少に対応し、生産・技術領域での原価低減活動を強力に行った結果、606百万円（前年同期比26.2%増）となりました。

②北米

売上高は、得意先の増産による量産売上の増加、新機種立ち上げによる型設備売上の増加に加え、為替影響により増収となり、24,224百万円（前年同期比63.6%増）となりました。セグメント利益（営業利益）は、増収効果に加え、一部拠点の収益好転などにより、1,429百万円（前年同期比164.2%増）となりました。

③欧州

売上高は、量産売上・型設備売上の減少等により、2,623百万円（前年同期比10.0%減）となりました。セグメント利益（営業利益）は、労務費及び製造経費の増加等により、70百万円（前年同期比85.9%減）となりました。

④アジア

売上高は、主力市場であるタイでの生産が回復基調にあり、インドネシアも生産が拡大したことなどから、9,559百万円（前年同期比30.9%増）となりました。セグメント利益（営業利益）は、増収効果に加え、昨年度からのタイでの原価低減の取組み等により、新工場の減価償却費の増加をこなし、846百万円（前年同期比96.6%増）となりました。

⑤中国

売上高は、成長減速等による生産台数の大幅な減少に加え、ローカルとの競争激化などから、為替影響があるものの、6,398百万円（前年同期比13.1%減）となりました。セグメント利益（営業利益）は、減産の影響に加え、減価償却費の増加により、447百万円の損失（前年同期比236.1%減）となりました。

⑥南米

売上高は、量産売上及び新機種立ち上げによる型設備売上の増加により増収となり、3,850百万円（前年同期比155.9%増）となりました。セグメント利益（営業利益）は、83百万円（前年同期比28.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末より6,307百万円減少し、221,382百万円となりました。これは主に、売掛金及び仕掛品の減少によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末より6,442百万円減少し、105,203百万円となりました。これは主に、買掛金の減少によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末より134百万円増加し、116,179百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成27年4月24日発表の予想数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間より、重要性が増したG-TEKT MEXICO CORP S.A. DE C.V.を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,696	13,082
受取手形及び売掛金	33,588	29,633
製品	920	1,041
仕掛品	21,034	18,025
原材料	2,568	2,688
貯蔵品	774	778
その他	5,525	7,352
流動資産合計	76,108	72,602
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	49,016	51,598
機械装置及び運搬具(純額)	41,301	39,405
工具、器具及び備品(純額)	25,455	24,461
土地	11,759	11,840
建設仮勘定	11,619	10,543
有形固定資産合計	139,152	137,849
無形固定資産	2,118	2,343
投資その他の資産		
投資有価証券	8,486	6,645
その他	1,824	1,941
投資その他の資産合計	10,311	8,587
固定資産合計	151,581	148,780
資産合計	227,690	221,382
負債の部		
流動負債		
買掛金	20,974	17,623
短期借入金	27,354	26,227
1年内返済予定の長期借入金	11,678	11,675
未払金	8,110	7,136
未払法人税等	450	412
賞与引当金	1,021	859
その他	5,988	5,192
流動負債合計	75,578	69,128
固定負債		
長期借入金	27,905	28,254
退職給付に係る負債	1,123	1,105
その他	7,037	6,715
固定負債合計	36,066	36,075
負債合計	111,645	105,203

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,656	4,656
資本剰余金	23,657	23,657
利益剰余金	53,941	54,319
自己株式	△21	△21
株主資本合計	82,234	82,612
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,504	2,660
繰延ヘッジ損益	△39	△17
為替換算調整勘定	19,960	19,111
退職給付に係る調整累計額	40	51
その他の包括利益累計額合計	22,466	21,806
非支配株主持分	11,343	11,760
純資産合計	116,044	116,179
負債純資産合計	227,690	221,382

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	43,286	55,934
売上原価	38,341	50,590
売上総利益	4,944	5,344
販売費及び一般管理費	2,847	2,962
営業利益	2,097	2,381
営業外収益		
受取利息	93	34
受取配当金	30	97
その他	97	90
営業外収益合計	220	222
営業外費用		
支払利息	201	289
為替差損	221	260
持分法による投資損失	187	306
その他	19	21
営業外費用合計	628	879
経常利益	1,689	1,725
特別利益		
固定資産売却益	10	26
投資有価証券売却益	—	116
特別利益合計	10	142
特別損失		
固定資産売却損	2	0
特別損失合計	2	0
税金等調整前四半期純利益	1,697	1,867
法人税等	597	491
四半期純利益	1,100	1,375
非支配株主に帰属する四半期純利益	104	408
親会社株主に帰属する四半期純利益	995	966

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	1,100	1,375
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31	155
繰延ヘッジ損益	21	22
為替換算調整勘定	△1,341	△573
退職給付に係る調整額	9	11
持分法適用会社に対する持分相当額	△28	△13
その他の包括利益合計	△1,370	△398
四半期包括利益	△270	977
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△313	306
非支配株主に係る四半期包括利益	42	671

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	日本	北米	欧州	アジア	中国	南米	
売上高							
外部顧客への売上高	9,587	14,617	2,914	7,300	7,360	1,504	43,286
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,185	189	0	5	0	—	5,382
計	14,773	14,806	2,915	7,305	7,361	1,504	48,668
セグメント利益	480	540	499	430	328	65	2,345

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,345
セグメント間取引消去等	△227
のれんの償却額	△21
四半期連結損益計算書の営業利益	2,097

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	日本	北米	欧州	アジア	中国	南米	
売上高							
外部顧客への売上高	9,626	23,973	2,621	9,526	6,335	3,850	55,934
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,531	250	2	33	62	—	3,881
計	13,157	24,224	2,623	9,559	6,398	3,850	59,816
セグメント利益 又は損失(△)	606	1,429	70	846	△447	83	2,589

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,589
セグメント間取引消去等	△183
のれんの償却額	△23
四半期連結損益計算書の営業利益	2,381

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間において、重要性の増したG-TEKT MEXICO CORP S.A. DE C.V.を連結の範囲に含め、新たに「北米」セグメントに加えております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。